

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	関西地区 FD 連絡協議会 FD デザイン研究 SG
企画名称・テーマ	「滋賀県立大学方式の『授業の基本』研修会と授業コンサルテーション」
開催日<会場>	2011 年 11 月 28 日 (月) <京都大学吉田南 1 号館>
参加者所属	教学部 教育開発課

### 参加報告

関西地区 FD 連絡協議会 FD デザイン研究サブグループの公開研究会「滋賀県立大学方式『授業の基本』研修会と授業コンサルテーション」に参加させていただいた。

講師の倉茂好匡氏は、現在、滋賀県立大学教育実践支援室に所属されており、過去には中等教育の教諭や塾の講師など多彩な経歴を持つ方で、その豊富な経験を活かして、現在「授業コンサルテーション」や「授業の基本講座」などを実践している人物である。

倉茂氏は、大学教員について、初等中等教育の教員と違い「教えるテクニック」を教わらないまま教壇に立つことが多いので「チョークの持ち方」「発声」「教室での立ち位置」など基本的な知識が欠落していること。また、授業に導入⇒展開の流れが無く組み立て方が下手であること、生徒の思考力を刺激するような発問が出来ていないことなど、授業テクニックが未熟な教員が多い事を指摘されていた。

そのような教員が抱える授業運営の課題に対する解決策として、倉茂氏は「授業コンサルテーション」に取り組んでいる。

倉茂氏が実践するコンサルテーションは、授業改善を希望する教員にメンターが 1 名担当し、複数回 (5~10 回) 授業に同席し授業内容や展開を確認する方法を取っている。(確認項目は以下の通り。)

#### <メンターが確認する項目>

1. 授業の構成と展開 ・「導入」の質 ・「展開」の時間配分 ・「展開のわかりやすさ」  
・「まとめ」の妥当性
2. 板書と画像 ・みやすさ、わかりやすさ ・字の大きさ ・量と速さ
3. 口調と視線 ・話の速さ ・間の取り方 ・口調の変化、強調方法  
・学生方向への視線 ・視線の移動
4. 発問と学生対応 ・発問内容 ・発問方法 ・学生の行動の観察  
・学生に対する指導、注意
5. 双方向性 ・学生に考えさせる配慮 ・授業外学習の指示  
・授業外学習内容のチェック

そして、メンターは改善点や具体的な改善策を交換ノートに記しそれを教員に渡す。渡

された教員はそのアドバイスを基に授業改善に取り組み、また疑問などがあれば交換ノートに記しメンターへ返却する。この取り組みを複数回続け、改善が確認された時点で終了となる。

この授業コンサルティングは 6 名の教員が取り組んだが、総じて評価は上がっており効果があったと言える。

授業コンサルテーションは、少しずつであるが全国的に拡大し、その効果が確認されている。本学においても授業コンサルテーションの制度を検討しても良いと考える。

以上